

第17回別海町新型コロナウイルス感染症対策庁内連絡会議 会議要旨

日 時：令和3年5月11日（火）午前10時30分～午前12時00分

場 所：庁議室

参 加 者：副町長、教育長、総務部長、福祉部長、産業振興部長、建設水道部長、教育部長、議会事務局長
会計管理者、農業委員会事務局長、監査委員事務局長、病院事務長、総務部次長
別海消防署長（オブザーバー）
保健課長（事務局）、防災交通課長（事務局）、防災交通担当主査（事務局） 計17名

1 開 会

○副町長あいさつ

- ・新聞報道でご存じのとおり、根室管内で新型コロナウイルスの感染が広がりを見せている状況。
- ・先日、中標津町長が緊急記者発表を行ったが、主な内容としては、町民に対して、2週間の公共施設休館や、小中学校の部活動の中止をお願いすることなどである。発表内容については、事前に中標津町から連絡があったところ。一部新聞では、本町や標津町の首長の談話や根室市の対応も掲載された。
- ・標津町でのクラスターの状況等を踏まえると、中標津病院の病床数もひっ迫してきており、当初、全道的には根室管内の病院が満床になった場合は釧路、釧路が溢れた場合は帯広といった約束があったように聞いているが、それも現状では難しくなっているのではないかと感じている。
- ・そのような状況もある中、北海道においては「まん延防止等重点措置」を講じることとなっており、全員で情報を共有して、共通認識のもと各種取組を行っていききたい。

2 議 事

（1）新型コロナウイルス感染症の最近の情勢について

● 新型コロナウイルス感染症発生状況（国・北海道）

【資料1】

[総務部長]

- ・資料読み上げにより説明あり。

● まん延防止等重点措置を踏まえた感染拡大防止の取組（北海道）

【資料1－2】

[総務部長]

- ・資料読み上げにより説明あり。
- ・各連絡会議委員においては、北海道コロナ対策本部会議の決定事項を、都度共有しているところであり、内容については、目を通しておいてほしい。

● 新型コロナウイルス感染症の状況について（根室管内4/24以降）

【資料2】

[総務部長]

- ・根室管内においては、3月20日（20例目）から感染者の公表はされていない状況であったが、4月24日から5月10日までで「23例」もの公表がされたところ。令和2年2月以降、通算では「43例」。
- ・標津町の福祉施設でもクラスターが発生している状況の中、濃厚接触者等への検査が継続して行われて

いることを考えると、今後も根室管内の感染者数は増加してくることが予想される。

[副町長]

- ・特に病院の受入れ態勢については、ひっ迫してきており、中標津病院は10床中5床が埋まっている。残り病床数が5床あるといっても、医者や看護師の人数、感染者の症状等によりひっ迫の度合いも高くなるだろう。これだけ自宅待機があるということは、病床が開いているからといって、簡単に受け入れる状況にはないのではないか。このことを中標津町長は重く受け止めていると思う。
- ・感染者やクラスターが発生した場合、その扱いについては、市町村は全くタッチできない。市町村が感染者に接触して主体的に何かできるかというところは何もできない。感染者が発生した場合は、保健所の判断で、入院や施設への入所あるいは自宅待機など、様々な対応をすることとなる。その対応内容についても、保健所から市町村に連絡が入ることはない。感染者の濃厚接触者についても同様である。

(2) 町長から町民の皆さまへのメッセージについて

【資料3】

[総務部長]

- ・5/10付け 町ホームページ・SNSに掲載済み

(3) 各部からの連絡事項等

[教育部長]

- ・5/11以降の中標津町の公共施設休館状況について、別紙参考資料1をもとに説明あり。
- ・管内の社会教育施設等の制限検討状況について、別紙参考資料2をもとに説明あり。
- ・教育委員会担当部局での聞取りにより、中標津町や標津町ではほとんどの施設で5/24まで休館、貸館事業の中止等の対応をとる方針であり、部活動・少年団活動の中止も決定している。羅臼町は、本日のコロナ対策会議で対応決定予定。また、根室市は、事業によって中止もあるが休館対応までは行わない予定とのこと。
- ・管内の教育委員会の動きとしても、非常に厳しい状況を踏まえ、中標津町を中心に、同様の対応を足並みを揃えて対応しないかとの話が教育長の間であった。それを受け、内部で協議を進め、教育委員会としては「同様の対応が必要である」との考えを持っているところ。他町で教育施設や体育施設に利用制限がかかると、どうしても利用したい方が、開いている施設に来てしまう可能性があることから、本町としても同様の対応をすべきと考えている。
- ・学校開放事業については、一般の方も出入りすることに加え、他町の方も利用するケースがあることから中止することを決定済み(5/12~31)
- ・各公民館事業について、特に寿大学の入学式等が計画されていたが、これらについては無期限で延期することで決定済み。
- ・部活動については、現時点で中止とまではしないが、対外試合は中止してほしいとしている。

[教育長]

- ・先ほど教育部長からも話があったが、中標津町の教育長が中心となって、管内の教育長に今回の状況を知らせ、理解いただいたうえで、同様の対応を取っていただけないかとお願いがあった。感染拡大を防ぎ、危機感を共有する観点からも、同様の対応でよいのではないかと教育委員会内部では確認をした。
- ・臨時休校になっていない状況下で、部活動を中止するののかということもあったが、安全を期してという

考えもある中で、上記の考えに至った経過も含め、昨日、理事者に調整をさせていただいた。

- ・町内感染者の発生状況も踏まえ、現時点では、学校開放事業の中止だけを今月いっぱい考えていくこととなったが、感染状況をみると、より拡大する可能性もある。管内の多くの施設が休館になった場合、例えば、パークゴルフ場は町外の方も訪れる可能性があるということで、感染対策の徹底の啓発文書を発出しようと考えてはいるが、刻一刻と状況が変化するので、今お話しした考え方も状況に応じて柔軟に対応していきたいと考えている。

[副町長]

- ・人流を抑えるために管内足並みを揃えてという考えも理解できるが一方で、各町の状況も違う中で、どの施設をどの程度の期間まで閉鎖するかなど、根拠に乏しく難しい一面もあるのは事実。昨年、小中学校の全面閉鎖などを実施したときは北海道の意向のもと行った経緯がある。最終決定をするにあたっては、施設管理者である町長の判断となる。

[議会事務局長]

- ・中標津町や標津町が施設を休館することで、パークゴルフ場なども含め、少なからず人の流れが本町に向くことになると思う。個人的には、中標津町や標津町と同様、体育施設等に利用制限を設けたほうが良いと思う。

[産業振興部長]

- ・産業振興部所管の施設について、コミュニティセンター、憩いの森などのバーベキューの予約も入っているが、その対応を検討している状況。加工体験施設については、指定管理している乳業公社から停止したいとの申し出があったところ。観光施設である道の駅やネイチャーセンターについても、管内の方が訪れることは少ないとは思いますが、どのような対応にするかを検討しているところ。ふるさと交流館については、5月中旬にオープンを予定していたが、オープンを遅らせたほうがよいかどうか意見をいただきたい。

[副町長]

- ・加工体験施設などは、町外の方が利用申込をしてくれている状況にあるのであれば、停止という判断をする材料にはなと思う。

[産業振興部長]

- ・コミセンは現時点で5月末まで予約は入っていないが、憩いの森のバーベキューハウスについては、花見シーズンということもあり、10人程度の予約が入っている状況。飲食が伴うという面では、やはり利用制限をかけるべきかと思っているが、一方で、キャンプ場はどうするかということも検討しなければならない。

[教育部長]

- ・どの施設が利用可能で、どの施設が不可という判断も難しい中では、施設の利用制限については個人的にはやはりしっかりと行ったほうが良いという考えである。

[副町長]

- ・飲食が伴うか伴わないかという問題もあるかもしれないが、バーベキューハウスについては、北海道が4人以下での食事を勧めている中で、10人以上の予約を許可することはできないのではないかと。北海道のまん延防止期間である5月末までは制限をかけたほうが良いのではないかと。
- ・観光施設である道の駅やネイチャーセンターについては、何か考えはあるか。

[産業振興部]

- ・各管内の道の駅の状況なども調べてみたが、厚岸町で一部時短はみられるが、その他措置を行っている様子はない。観光施設である道の駅やネイチャーセンターは休館措置を行わない方針で考えている。

- ・ふるさと交流館については、手続きの関係もあるが、この状況下では5月末まで稼働は難しいと思っている。

[総務部長]

- ・まん延防止措置の期間が5月31日までということを見ると、そのタイミングに合わせる方が良いのではないか。

[副町長]

- ・その考え方でよいと思う。保健所の手続きやこの状況を踏まえ、いずれにしても6月1日以降に稼働ということで進めること。

[福祉部長]

- ・介護事業所等の従事者へのPCR検査の関係について、病院で設定しているステージが上がれば、PCR検査を実施することで進めているが、各自治体からの需要が殺到しており、PCR検査キットの確保が難しい状況にある。このため、介護支援課、保健センター、病院臨床検査室で打合せを行い、抗原検査キットを購入して各事業所に配布し検査を行ってはどうかということまで話を進めている状況。臨床検査室からの情報をもとに、検査技師等間で信頼性の高い、国産の2種類のキットを検討しているところ。

[副町長]

- ・昨年の臨時交付金を充当して、施設で病院のステージが上がるようであれば、病院の判断を受けながら、施設入所者や従事者等にPCR検査を行おう、そして行うのであれば、月1回程度ではなくそれ以上の回数で行おうと考えていたところ。管内のコロナ陽性患者数が増えるなど、昨年3月までに何かあれば予備費を充当してでも行おうと考えていたが、そのような状況に至らなかったため、昨年予算化して繰り越してきている。
- ・PCR検査のキットには、使用期限があるので大量に購入できるものではないため、状況を見ながら購入しようと考えていたが、今回の状況を踏まえ、PCR検査キットを購入しようとしたところ、手に入らない状況である。そのような中、抗原検査キットを購入しようと考えているという内容である。
- ・5月8日、9日で施設入所者は、ワクチン接種1回目が完了した。12日までは従業者も含め1回目はすべて完了する予定。特養や老健、認知症の施設、グループホームなど入所関係の老人福祉施設については、1回目が完了したので、3週間後に2回目を実施する予定。このため、ワクチン接種を完了した方に、今PCR検査等を行っても意味がないので、もし実施するのであれば、デイサービスなど入所施設ではないところに実施したほうがよいということで準備を進めている状況。
- ・抗原検査キットの使用期限もあると思うが、根室管内の現状を考えると、多少無駄になる可能性があったにしても、老人施設だけではなくほかにも活用することも視野に入れ、手に入るうちに購入を進めたほうが良いと考える。

[総務部長]

- ・PCR検査キットは、唾液を採取し一度送り、結果を受けた後、その結果により再度保健所や病院に相談する流れだが、抗原検査キットはその場で1時間以内に反応が出るので、それにより速やかに受診できるといったメリットもある。

[副町長]

- ・どちらの検査も陽性反応が出た場合は、必ず病院に行き受診をしなければならない。その際に、ひとり陽性反応がでた場合は、周囲全員の検査が必要となるので、計画的に検査を行っていかねば、病院の対応がパンクする可能性があるため、しっかり病院と調整協議を進めてほしい。

3 その他

[総務部長]

- ・管内の状況を踏まえると、町内でも予断を許さない状況である。日々状況が変化する中で、施設に対する判断等については、改めて協議の場を持ち、急な方針転換もあり得るということを理解願いたい。

4 閉会

◎ 閉会后、町長に協議内容を説明し、以下のとおり指示あり。

1. 抗原検査等の実施については、病院と調整、協議を図り進めること。
2. 教育施設の学校開放事業は、停止する。現時点でそれ以外の教育施設や体育施設等の利用制限は行わない。ただし、感染防止対策の徹底等の啓発をしっかりと行う。
3. バーベキュー施設は停止する。
4. 自粛生活を強いられる中で、感染防止対策を徹底している町民の方には、できる限り施設を使用できるような工夫を行ってほしい。

以 上